

Back Number

本論文は

世界経済評論 2023 年 5/6 月号

(2023 年 5 月発行)

掲載の記事です

2023年5月15日発行(毎月(第2月)発行)
150頁・送料別・通巻725号

世界経済を読み解く国際戦略の羅針盤

世界経済評論 5・6月号

2023 Vol.67 No.3

World Economic Review



世界経済評論

定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%

送料無料

OFF

富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読
期間中

デジタル版バックナンバー読み放題!!



世界経済評論 定期購読



☎0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp

雑誌のオンライン書店

格差と闘え ：政府の役割を再検討する

九州大学経済学研究院教授 清水 一史



[編者]

オリヴィエ・ブランシャール (Olivier Blanchard)

ピーターソン国際経済研究所シニア・フェロー
ダニ・ロドリック (Dani Rodrik)

ハーヴァード大学ケネディスクール校教授

[訳者] 月谷真紀

[発行] 慶應義塾大学出版会, 2022年3月

[判型] 四六判, 400ページ

[定価] 本体 3,200円+税

現在、世界各国で格差が拡大し、その是正が喫緊の課題となっている。本書は、2019年10月にピーターソン国際経済研究所で格差をテーマに開催された大規模な会議における報告を基にまとめられた。多くの経済学者が集まったこの会議では、数年前にはもっと意見が分かれたはずの格差の多くの側面について広く意見の一致が見られ、格差の是正が政策として取り上げられるべき最優先課題とされた(「序章」)。本書を読むと、市場を信頼する傾向の強かったアメリカにおいても、多くの経済学者によって格差が現代経済の最大の問題の一つと捉えられるようになり、格差を是正する色々な対策が検討されていることが理解できる。

本書は、「序章」に続く「I 状況の展望」, 「II 倫理と哲学の次元」, 「III 政治の次元」, 「IV 人的資本の分配」, 「V 貿易, アウトソーシング, 海外投資に対する政策」, 「VI 金融資本の(再)分配」, 「VII 技術変化のスピードと方向性に影響を与える政策」, 「VIII 労働市場についての政策, 制度, 社会規範」, 「IX 労働市場ツール」, 「X 社会的セーフティネット」, 「XI 累進税制」に、全29章が含まれている。

執筆者は経済学者が中心だが、哲学者や政治学者も参加し、多くの分野からの検討がなされている。それぞれの政策案も、資産税に見るように異なった見解もあり、様々な案が含まれている。また短期の政策だけではなく、子供の貧困の削減のような長期で効果のある政策も提示されている。それぞれの章は大変短いですが、格差に関する事実の把握と対策のエッセンスが詰まっている。アメリカにおける格差が中心ではあるが、日本の格差を考える際にも、もちろん大いに参考になる。

そして本書では、吉原直毅氏(マサチューセッツ大学)の解説を、是非お読み頂きたい。本書の内容の的確な解説とともに、より広い視点からの指摘がなされている。「資本主義とは何か?」の問題を詰めるべきであり、「市場経済=資本主義」ではない資本主義的市場経済の理論的把握が必要になってくるとの指摘は、大変重要と考える。

ところで、現在、グローバリゼーションあるいは国際間の貿易投資の拡大等が各国における格差の原因とされがちであるが、各国における格差の拡大には、多くの他の要因とともに、1980年代以降の各国の経済政策と格差対策の不備が大きく影響している。評者は、各国の格差の是正と、国際貿易投資の拡大等の両面による世界経済の発展が重要と考える。各国の格差の是正は、現在の保護主義の拡大を止めるためにも必要であろう。

本書は、現代経済における最優先課題の一つである格差の実態を知り、その対策を考えるための格好の導きの一書である。是非ご一読頂きたい。(しみず かずし)